



花き生産情報第2号【要約版】

平成29年5月18日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

施設内の温度変化が激しい時期です。適正な温度管理により高品質な花きの生産に努めましょう。
土壌診断に基づいた施肥設計で、バランスの良い土づくりに努めましょう。

1 夏秋ギク

(1) 生育状況

4月定植の生育はおおむね順調である。一部で白さび病の発生が見られるほかは、目立った病虫害の発生は見られない。

(2) 今後の作業

- ・切り花の品質向上のため、わき芽は小さいうちにかき取る。
- ・白さび病などの発生防止のため、過湿や多肥を避け、早期発見・早期防除に努める。

2 秋ギク

(1) 今後の作業

- ・太さが揃い充実した苗を出荷時期に応じて定植する。
- ・定植後は、気温25℃以上にならないように管理する。

3 トルコギキョウ

(1) 生育状況

春定植栽培の生育は順調に経過しており、病虫害の発生も見られない。

(2) 今後の作業

- ・展開葉4枚までの苗を定植する。
- ・生育の停滞を防ぐため気温が25℃以上にならないように管理する。
- ・立枯性病害が発生した際は、発病株の抜き取りを徹底する。

※アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) に本文を掲載しています。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！

◎農薬は適正に使用しましょう。

- 1 農薬の飛散を防止する！
- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
- 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！

農薬情報 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

農薬登録情報検索システム (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)

◎春の農作業安全運動を展開中です（4月1日～5月31日）

例年、4～5月は、農作業事故が多くなる時期となっています。

- 1 70歳以上の方による農作業事故が増加しています。農作業は焦らず、急がず、慎重に！
 - 2 機械操作や高所作業等においては、ヘルメットを着用しましょう！
 - 3 万一の事故に備えて、労災保険や農機具共済等に加入しましょう！
-

報道機関用提出資料	
担当課 担当者	農産園芸課 野菜・畑作物振興グループ 佐々木主幹
電話番号	直通 017-734-9485 内線 5080
報道監	農林水産部 田中農商工連携推進監 内線 4966